

第78期  
(2026年3月期)  
中間期 決算説明資料

2025年 11月14日

トーイン株式会社

証券コード：7923



## 第78期 中間期 連結決算概要

### 注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、訪日外客数のさらなる増加、全国的な賃金引き上げの動きや株価の堅調な推移など一部好材料が見られたものの、食品価格を中心とした消費者物価が上昇したことや米国関税措置をめぐる経済不安などにより、個人消費は低調に推移しました。こうした中で、諸物価高騰の影響や消費者の節約志向の高まり等により、包装資材業界は引き続き厳しい事業環境にて推移しました。

当社グループは、このような状況の下、業容の拡大を目指し、当社主力事業である包装資材事業のシェア拡大、精密コーティング事業や海外事業への取り組み強化等に注力してまいりました。また、品質重視、安定供給を基本としたモノ作りの徹底はもとより、安全・安心・健康を重視した工場運営を行いつつ、諸資材・エネルギーコスト、人件費や物流コストのアップに対処すべく、生産効率の向上等の諸施策を推進してまいりました。

包装資材事業においては、引き続き環境対応資材、デザイン・構造設計に係る企画力や加飾技術力等、当社製品の優位性のアピールを軸とする、企画提案型の営業活動を継続してまいりました。その結果、国内の売上高は、パッケージ部門が各分野とも底堅く推移し、増収となりました。海外においても、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）、タイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）とも増収となり、売上高は6,685百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

利益面については、各種コストのアップに対して、受注数量に応じた単価交渉など採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等による製造コストの低減を推進した結果、前年同期比で増益となりました。

精密コーティング事業においては、AI技術やエネルギー関連の先端技術等を支える機能性フィルムの需要が拡大する中、関連するコーティング製品の受託に注力した営業活動により、売上高は625百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

利益面については、売上拡大を受け、前年同期比で増益となりました。

その他事業においては、アッセンブル事業の低迷を受け、売上高は160百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

利益面については、売上の伸び悩みを受け、前年同期比で減益となりました。

この結果、売上高は7,471百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益574百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益591百万円（前年同期比17.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益377百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

## 第78期 中間期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第77期 中間期		第78期 中間期		対前年 同期比	備 考
売 上 高	7,269	% 100.0	7,471	% 100.0	202	
売 上 原 価	5,798	79.8	5,864	78.5	66	
売 上 総 利 益	1,470	20.2	1,606	21.5	136	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,011	13.9	1,031	13.8	20	
営 業 利 益	459	6.3	574	7.7	115	
営 業 外 収 益	87	1.2	84	1.1	△2	
営 業 外 費 用	42	0.6	68	0.9	25	
経 常 利 益	503	6.9	591	7.9	88	
特 別 利 益	0	0.0	10	0.1	10	
特 別 損 失	116	1.6	61	0.8	△55	
税金等調整前中間純利益	387	5.3	541	7.2	153	
法 人 税 等	96	1.3	161	2.2	64	
中 間 純 利 益	290	4.0	379	5.1	88	
非支配株主に帰属する 中 間 純 利 益	1	0.0	1	0.0	0	
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	289	4.0	377	5.1	88	

## 第78期 中間期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

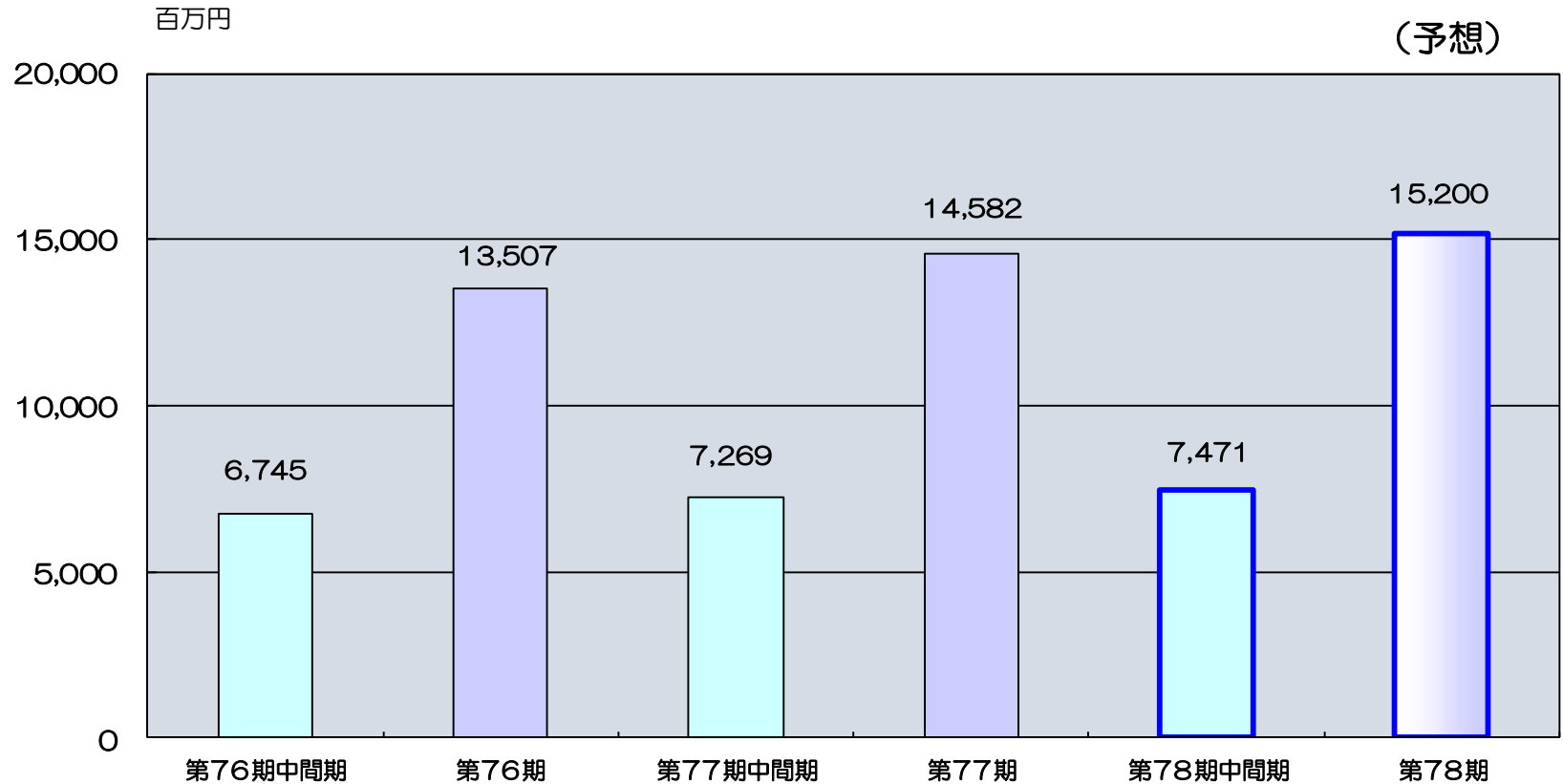
	第77期		第78期 中間期		対前期比	備 考
流動資産	8,733	% 42.7	8,597	% 42.1	△136	現金及び預金 △469 受取手形及び売掛金 △138 電子記録債権 +409
固定資産	11,728	57.3	11,834	57.9	105	
有形固定資産	8,173	40.0	8,215	40.2	42	建物及び構築物（純額） △55 機械装置及び運搬具（純額） +116
無形固定資産	30	0.1	58	0.3	28	
投資その他の資産	3,525	17.2	3,559	17.4	34	投資有価証券 + 65
《資産合計》	20,462	100.0	20,431	100.0	△30	
流動負債	5,726	28.0	5,791	28.3	64	電子記録債務 +190 流動負債その他△139
固定負債	3,755	18.3	3,490	17.1	△265	長期借入金 △444
《負債合計》	9,482	46.3	9,281	45.4	△200	
株主資本	8,949	43.7	9,238	45.2	289	
資本金	2,244	11.0	2,244	11.0	0	
資本剰余金	2,901	14.2	2,901	14.2	0	
利益剰余金	4,514	22.1	4,804	23.5	289	
自己株式	△711	△3.5	△711	△3.5	0	
その他の包括利益累計額	1,974	9.6	1,855	9.1	△118	その他有価証券評価差額金 +42 為替換算調整勘定 △167
非支配株主持分	56	0.3	55	0.3	△0	
《純資産合計》	10,979	53.7	11,149	54.6	169	
《負債・純資産合計》	20,462	100.0	20,431	100.0	△30	

## 第78期 中間期 連結キャッシュ・フロー計算書

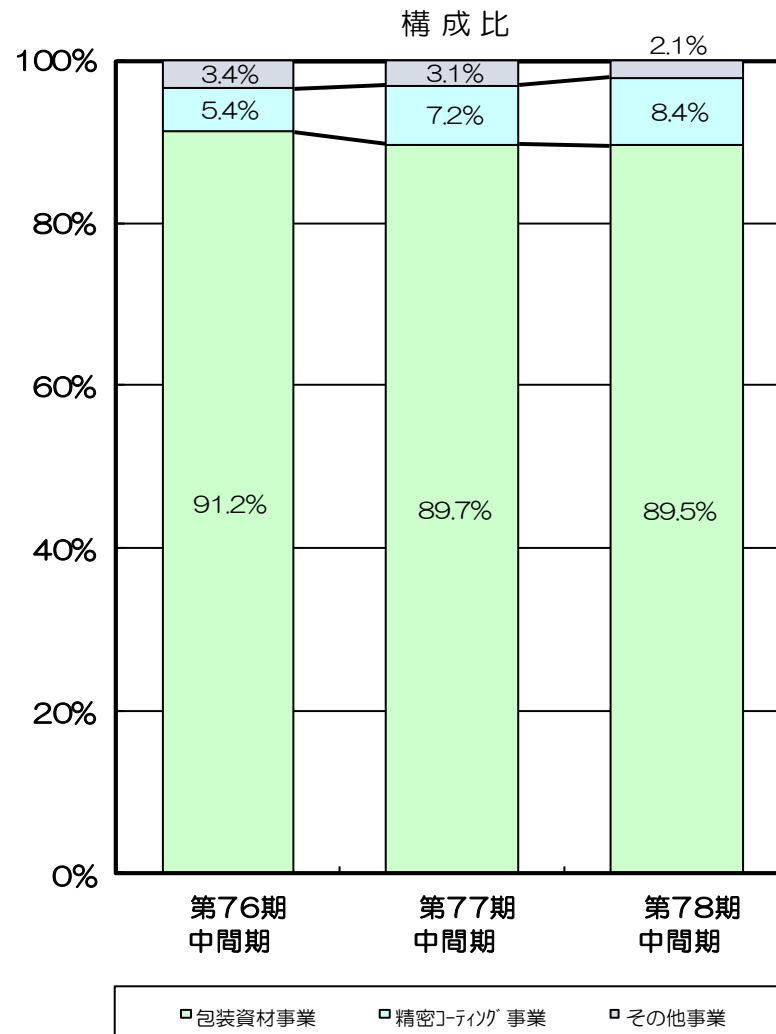
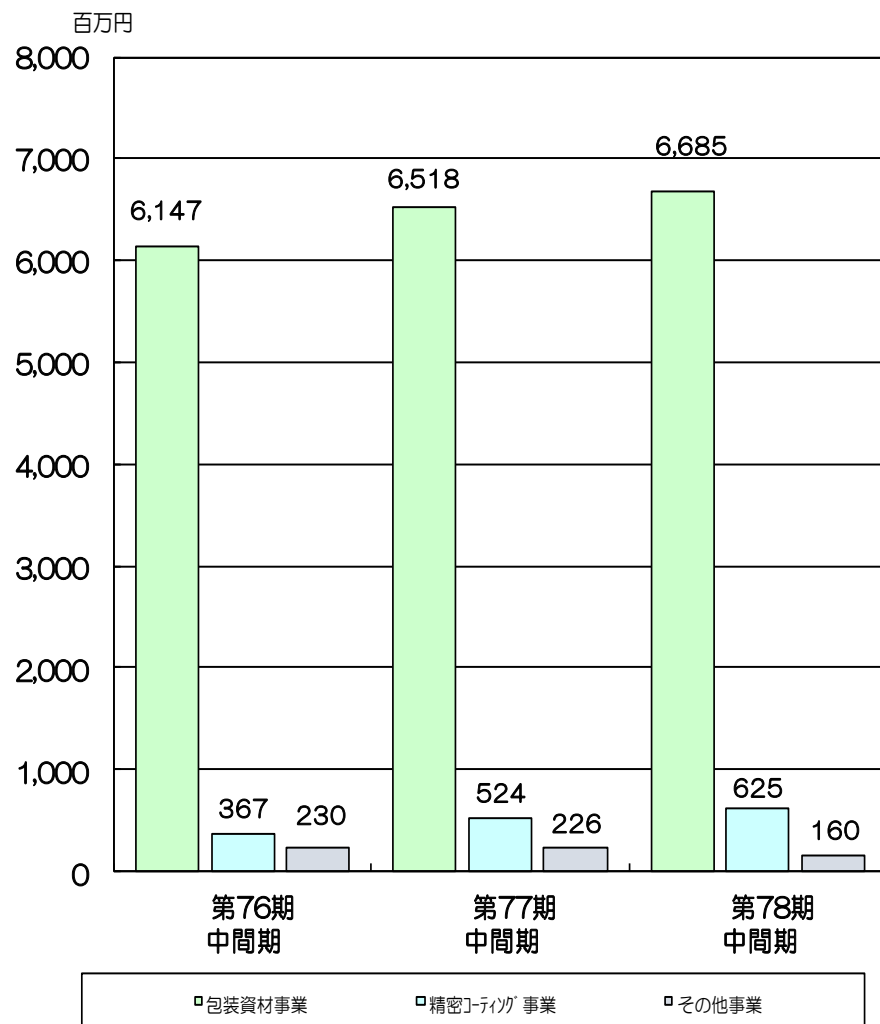
(単位：百万円)

	第77期 中間期	第78期 中間期	当中間期の特記
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	484	税金等調整前当期純利益 541 減価償却費 362 売上債権の増減額 $\Delta 252$ 棚卸資産の増減額 $\Delta 79$ 仕入債務の増減額 166
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta 467$	$\Delta 370$	有形固定資産の取得による支出 $\Delta 369$
財務活動によるキャッシュ・フロー	81	$\Delta 527$	長期借入金の返済による支出 $\Delta 439$
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	$\Delta 55$	
現金及び現金同等物の増減額	319	$\Delta 468$	
現金及び現金同等物の期首残高	1,797	2,667	
現金及び現金同等物の当期末残高	2,116	2,199	

## 売上高の推移（連結）



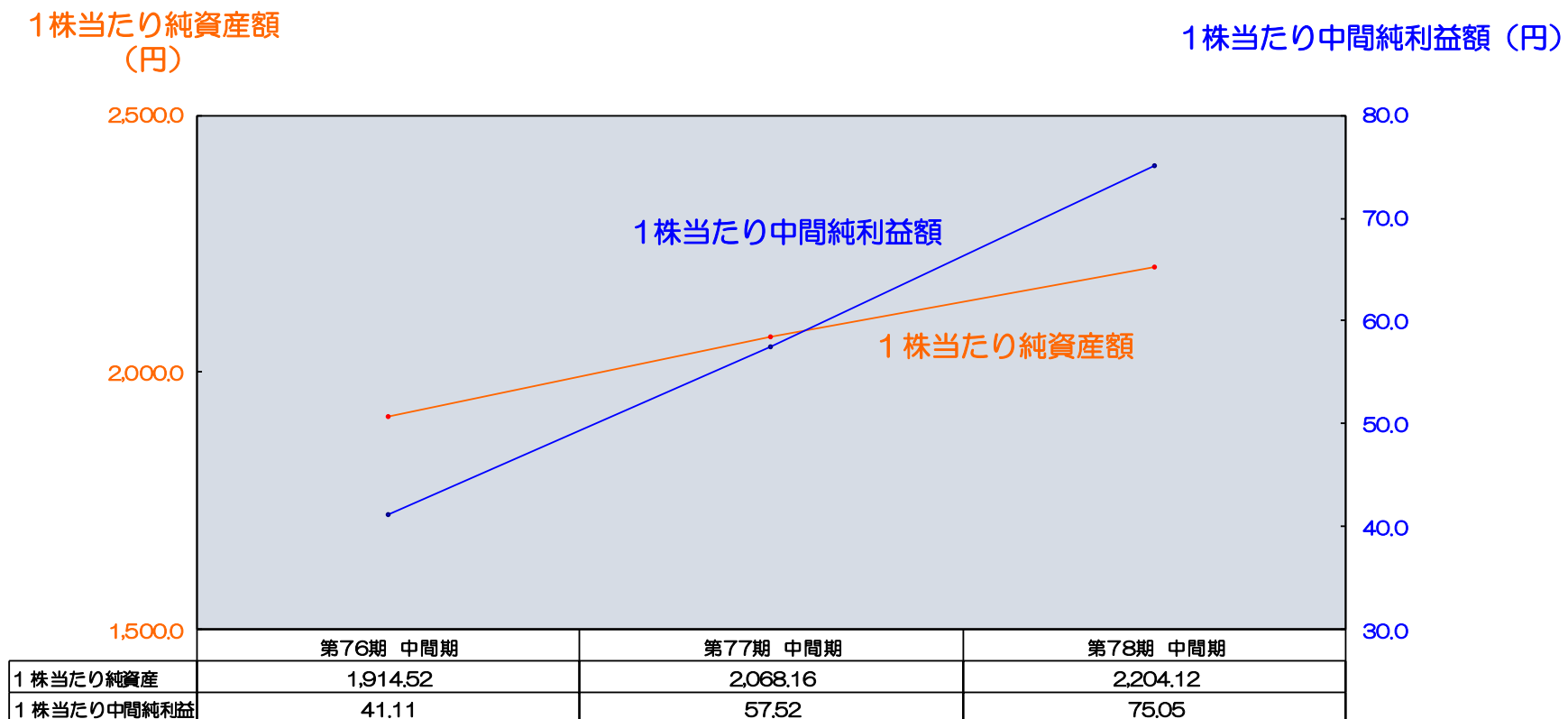
## 事業別売上高（連結）



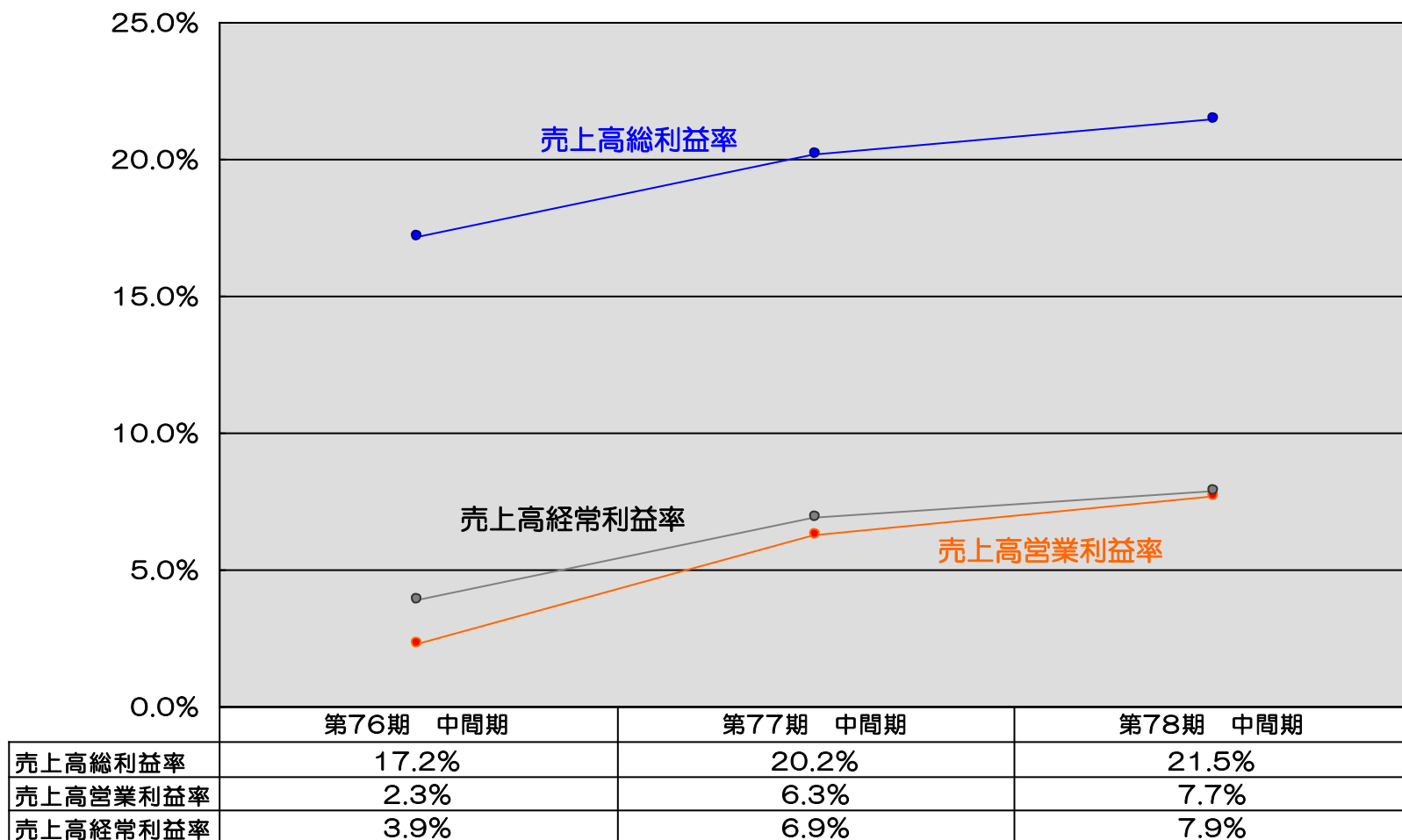


## 經營指標（連結）

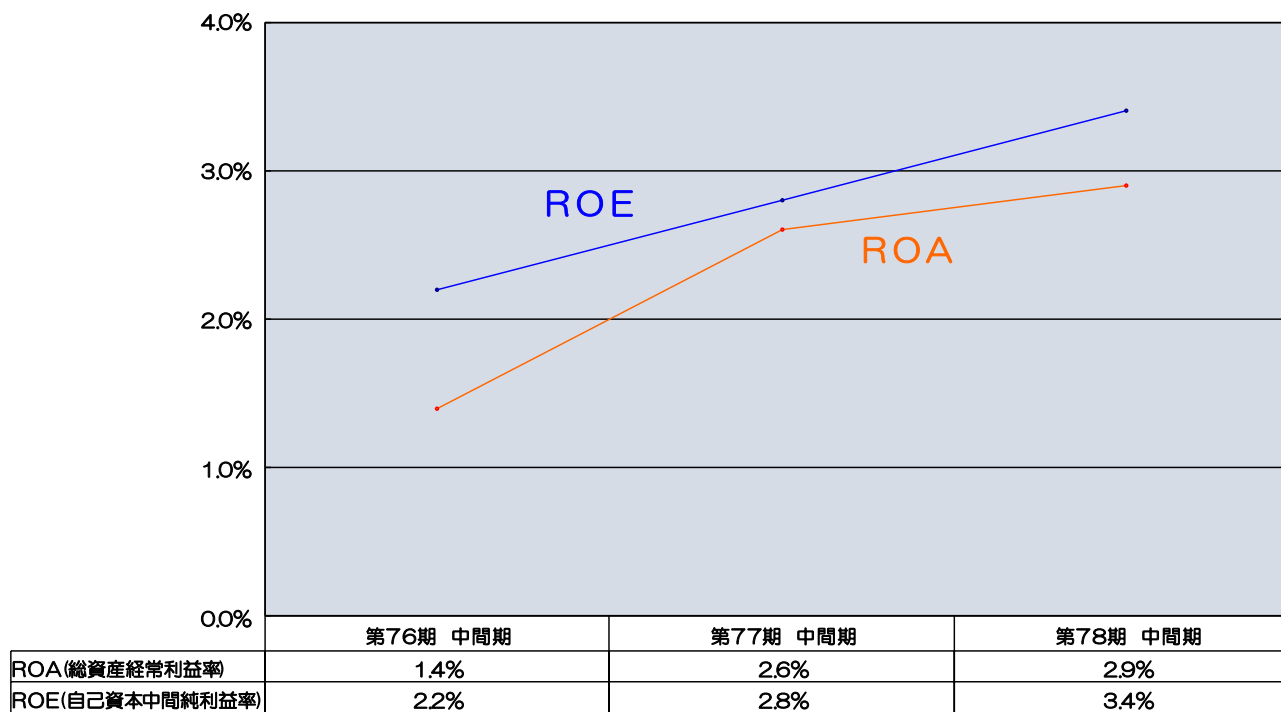
## 経営指標 I (連結)



## 経営指標Ⅱ（連結）



## 経営指標Ⅲ（連結）



## 第78期 連結業績予想

## 第78期の連結業績予想について

今後のわが国経済は、インバウンド需要のさらなる拡大や全国的な賃金の引き上げ効果に期待がかかるものの、消費者物価の上昇等を受け、個人消費の回復には時間を要するものと見込まれます。また、米国の関税引き上げや世界各地における地政学リスクの影響も引き続き懸念されることから、厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、中長期経営ビジョン『パッケージで人生（LIFE）をもっと明るく、豊かに』を標榜しつつ、新技術開発、新しい事業の柱の構築など将来に向けた諸施策をはじめ、精密コーティング事業や海外事業への取り組み強化、環境負荷軽減などESG経営の実践、成長分野への選択と集中、保有資産の戦略的活用、生産体制の再編等による事業基盤の再構築により、持続的成長と一層の企業価値向上に努め、「総合パッケージング企業」への足固めを行ないます。

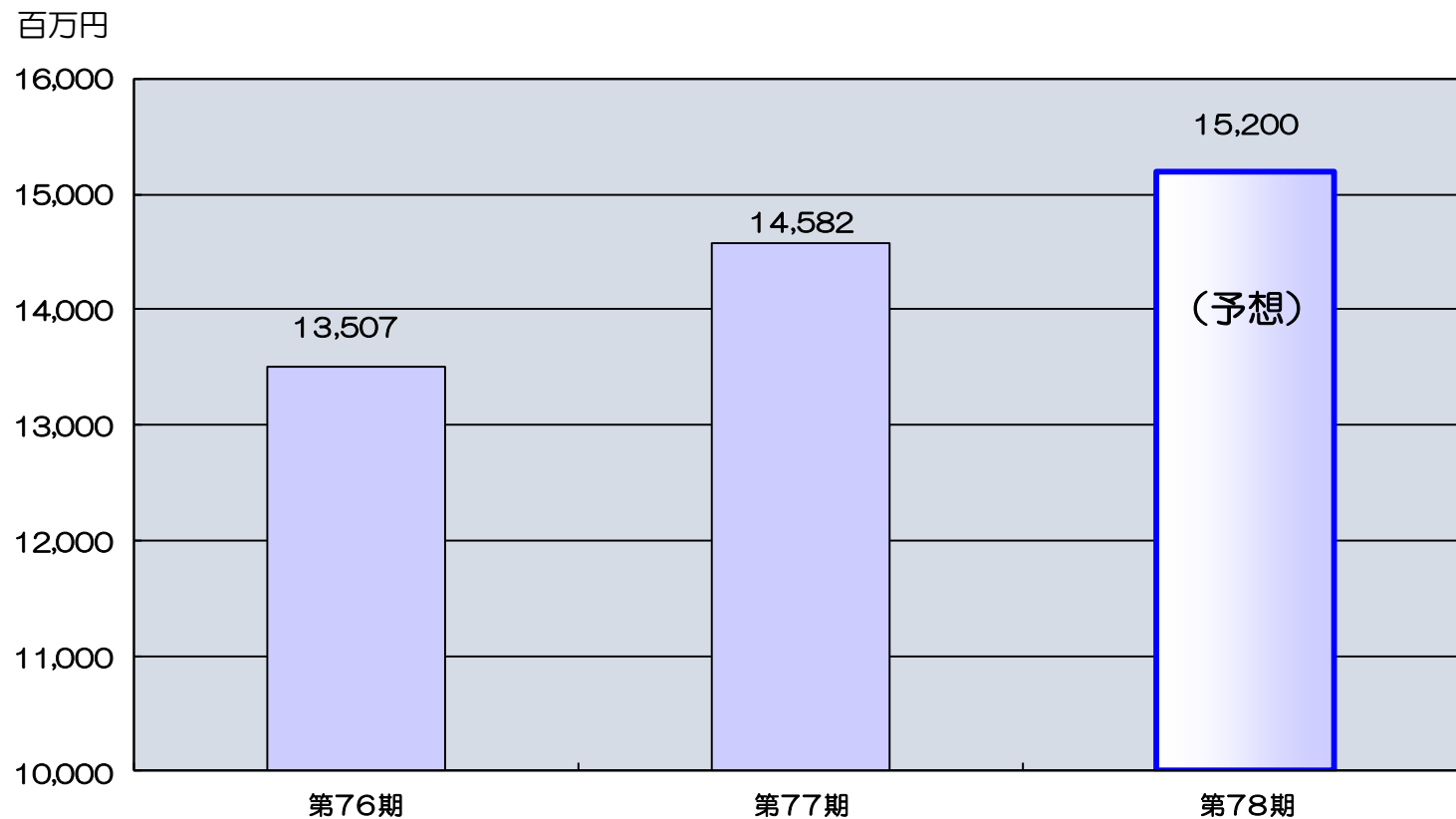
なお、通期の見通しは、売上高15,200百万円、営業利益900百万円、経常利益910百万円、親会社株主に帰属する当期純利益640百万円を見込んでおります。

## 第78期の連結業績予想

(単位：百万円)

	当中間期(実績)		通期(予想)	
	金 額	売上高比率	金 額	売上高比率
売 上 高	7,471	% 100.0	15,200	% 100.0
営 業 利 益	574	7.7	900	5.9
経 常 利 益	591	7.9	910	6.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	377	5.1	640	4.2

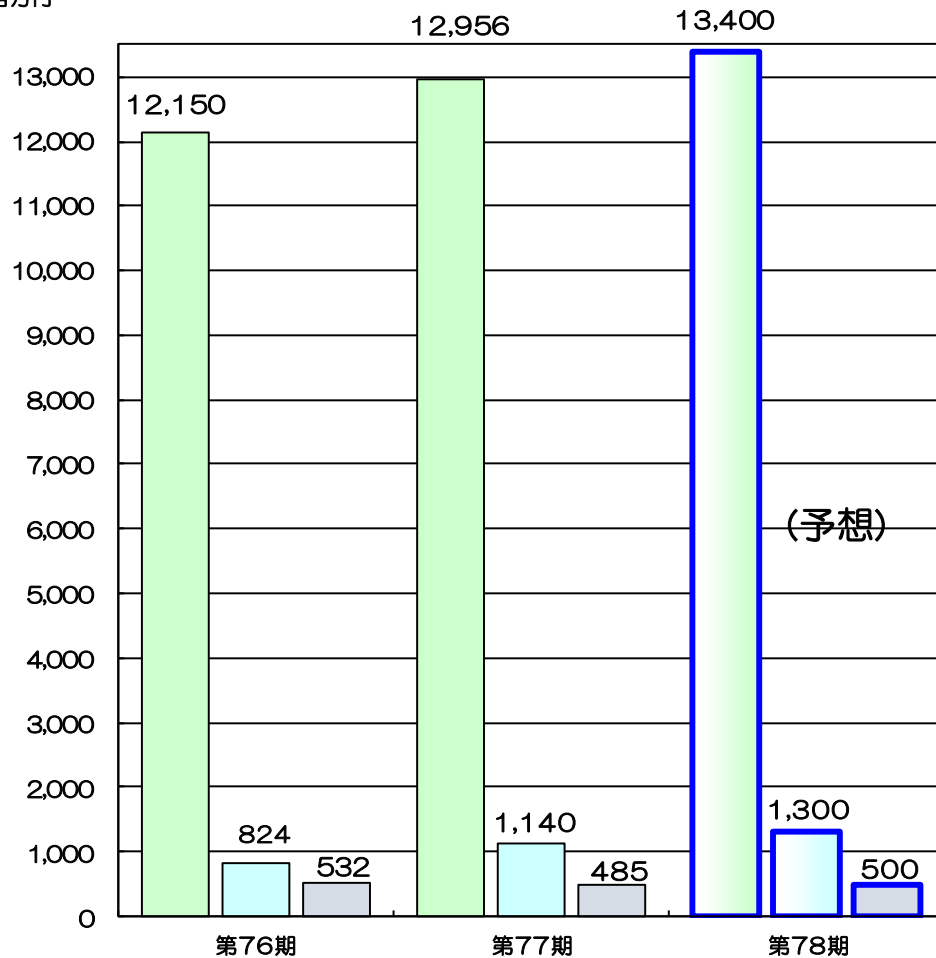
## 通期売上高（連結）





## 事業別売上高（連結）

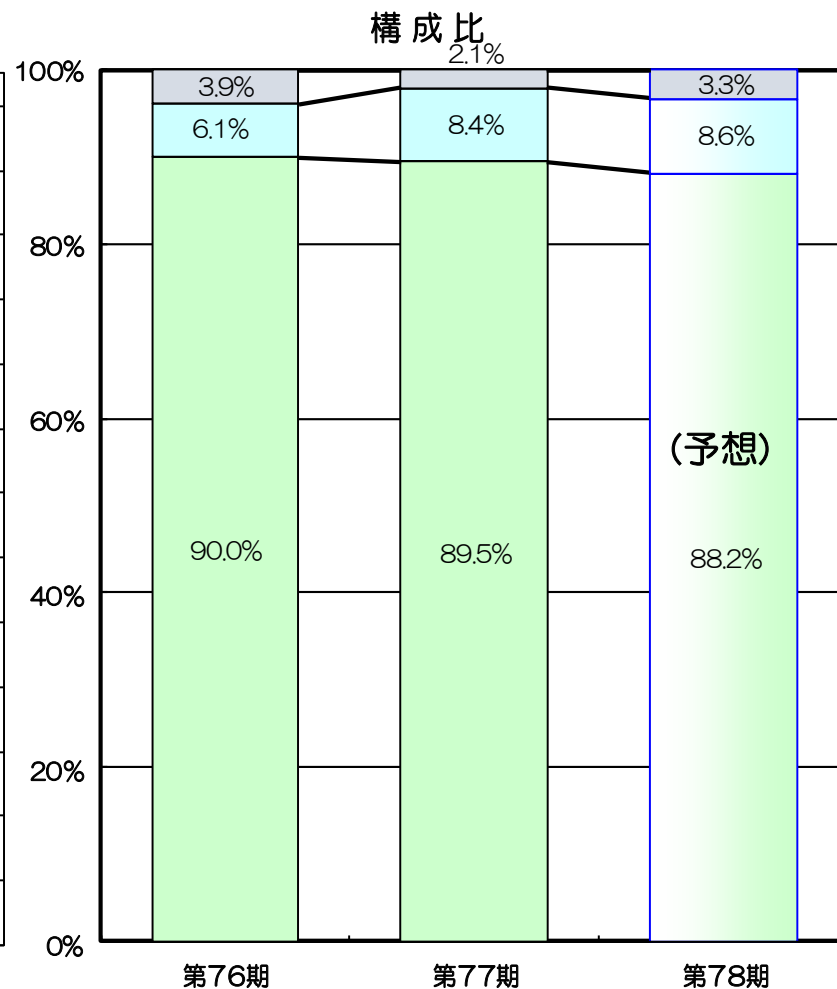
百万円



□包装資材事業

□精密コーティング事業

□その他事業



□包装資材事業

□精密コーティング事業

□その他事業

## 経営方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。  
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

### ＜経営理念＞

- ・ お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- ・ 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- ・ 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

## 企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

# トーン株式会社



## 《事業所》

### ◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2  
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

### ◎西日本支社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2  
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

### ◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉2-16-1  
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

### ◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5  
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

### ◎九州事業所

〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1905-7  
TEL：0943-73-7888(代) FAX：0943-73-7999

## 《子会社》

◎TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーンタイランド)  
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)  
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

## 《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)  
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131